

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 相模原市立青和学園

① 学習指導案

プログラム	No.1 1 「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全 時間)	「地域景観ガイドマップを作ろう」 Say “和” タイム (総合的な学習の時間)
学習のねらい	青根・青野原両地域の特徴等を調べることで、地域を愛する気持ちや誇りを持つとともに、進んで地域の魅力を発信しようとする態度を育てる。
学習内容	1 地域等で作成された資料や地元の話などから地域を知る。 2 自分が住む地域の良さについて、人によって考え方や見方に違いがあることを知る。 3 情報収集力を習得し、情報を効果的に周知する方法を経験する。 4 持続可能な地域社会のあり方について考える。
参考資料 準備品 実施場所等	相模原市景観計画、相模原市都市計画マスタープラン (概要版、区別構想) 横浜市景観まちづくり学習、地域図、デジタルカメラ、タブレット、模造紙 マーカーペン、学区内地域、教室、PC教室、体育館コミュニティルーム

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
3	情報収集 これまでに作成された地域の散策地図や相模原市景観計画、相模原市都市計画マスタープランなどをもとに、情報収集を行う。また、地域散策の際に、確認すべき箇所や新たな魅力となるような箇所について予想する。	事前学習として、これまでに地域で作成された散策地図や市の景観計画、都市計画マスタープランなどを提示し、地域や市が地域の情報を発信していることを理解させるとともに新たな地域の魅力となり得るような箇所に気づかせる。	地域の大まかな知識を理解できたか 地域の魅力について気づくことができたか。
4	地域探索 地域の散策地図などを参考に地域を散策し、主な景観を確認するとともに、地域の人々へのインタビューを行い、地域の魅力などについて把握する。	安全への配慮をしながら、地域を探索させる。その際に、事前学習で調べた景観を確認させるとともに、地域の人々へのインタビューを通して、地域の魅力などについて考えさせる。	実際の探索によって、地域の景観の魅力を体感できたか。

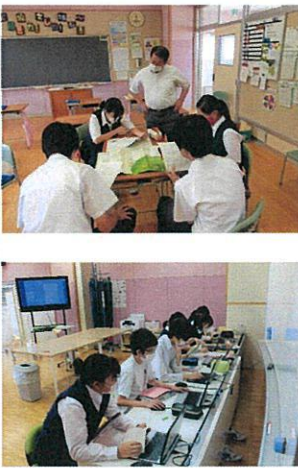

4	<p>地域景観ガイドマップ作成</p> <p>これまでの活動を通して得た情報や知識をもとにして、地域の魅力を見いだす。</p> <p>探索や人々の話から気づいたことや新たな地域の魅力を含め、地域の紹介・案内として活用できる地域景観ガイドマップを作成する。</p>	<p>これまで知られていた地域の魅力を再確認するとともに今後新たな地域の魅力となるものはないか、考えさせる。</p> <p>見る人が共感し、地域を分かりやすく紹介・案内する地域景観ガイドマップを作成させる。</p>	<p>見る人が共感するような地域景観ガイドマップを作成することができたか。</p> <p>地域を愛する気持ちや誇りを持つとともに、進んで地域の魅力を発信しようとしたか。</p>
---	---	---	--

<留意点>


- 各教科等の学習のつながりも考えた教科横断的な学習を展開する。
- 学校と地域の協働推進コーディネーターとの連携を図る。
- 地域を探索する際の安全対策を講じる。

② 事業実施報告書詳細

学校名 相模原市立青和学園

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
3	各教室	<p>青根・青野原の両地域について、調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 今年度、4つの小・中学校が一つになって開校した青和学園の広がった学区（青根・青野原両地域）について調べる。</li> <li>• 両地域に関する資料にはどのようなものがあるかを確認するとともにその資料から分かることは何か考える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今まで、よく目にしてきたものが、歴史的価値があることに気づいた。</li> <li>• 地域に関する資料から、地域の特色が分かった。</li> </ul>
4	地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事前学習で把握した地域の特色や景観を実際に歩いて確認してみよう</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 資料で把握した地域の特色や景観を実際に見て、改めて地域の良さが分かった。</li> </ul>



		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方からの説明を聞いたりインタビューをしたりして、理解を深めよう</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を歩き、寺社などを見ながら説明を聞くことで、地域の歴史が分かった。</li> </ul>
4	各教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの活動を通して分かった地域の魅力はどんなことかまとめてみよう</li> <li>・青根・青野原両地域の地図を書いて、地域の遺物、寺社などの見所を書き込んだり、地域探索で撮影した写真などを貼ったりして、地域景観マップを作成しよう</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・青根・青野原両地域の特色が分かり、これから多くの人に地域のことをもっと知ってもらいたいと思った。</li> <li>・地域の魅力を発信して、持続可能な地域となるような取組を行っていききたい。</li> </ul>

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育を行う本校の良さを活かし、3年生と9年生が、適宜、地域の特色などを情報交換した。</li> <li>・青根・青野原両地域の4校が統合したことで、両地域のゲストティーチャーの協力を得るようにした。</li> <li>・学園生が、活動を通して地域の魅力とともに課題も考え、本校が取り組んでいるSDGsとも関連付けるようにした。</li> </ul>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校は、今年度4月に開校した市内初の義務教育学校であり、小中一貫教育を進めるために昨年度から準備を行ってきたが、統合した4校でこれまで行ってきた教育活動を今年度どのように進めていくかで議論に時間がかかり、総合的な学習の時間内で行う「景観プランナー」事業についても、様々な調整を行う必要があった。</li> <li>・4校が統合したことで、学区が広範囲になり、調査区域までの移動時間や調査時間などの予測が難しいところがあった。</li> <li>・新型コロナウイルス感染防止のために、昨年度3月から本年度5月まで臨時休校となったことや、学校再開後の校内での日常的な感染防止策だけでなく、校外でも感染防止策を講じなければならなかったこと。</li> </ul>

### (3) 児童・生徒の反応

- ・地域の神社仏閣などの建造物や史跡、地域の山々や河川について、自分たちで調べたり、ゲストティーチャーの方々から直接話を聞いたりしながら、自分たちの身近にあるものが、歴史的に価値があるものであることを認識するとともに、地域の自然の美しさなどに改めて気づき、これからも大切に守っていかなければならないという意識を持つようになった。
- ・地域景観マップ作りに、友だち同士協力しながら、非常に意欲的に取り組んでいた。
- ・SDGSと関連付けて考えるようになり、地域の活性化についても関心を持つようになった。

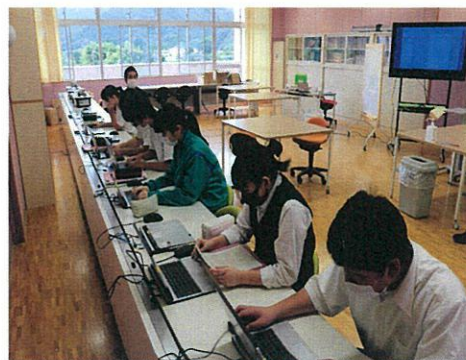
### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・開校とともに、新型コロナウイルス感染で休校となるなど、今年度は、学園生にとって様々な制約がある中での教育活動となったが、学園生が、生き生きと地域めぐりや景観マップ作りに取り組む姿を見て、教員の方が励まされた。
- ・教員自身も、学園生と一緒に地域を歩きながら、地域の魅力に気づくことができた。
- ・このような活動が、「なぜ学ばなければならないのか」という学習意欲につながるものであると認識できた。

### (5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

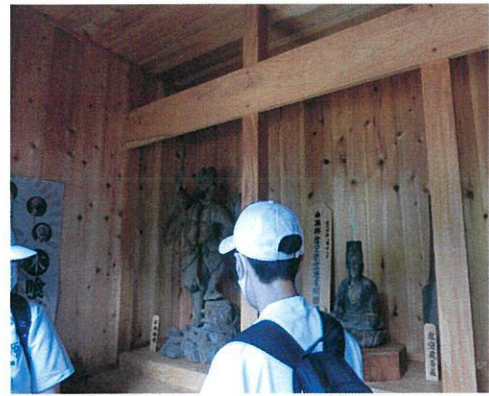
- ・小中一貫教育の観点から、この活動が、どの学年で実施するのが適切か、また、各教科等の内容との相互の関連付けなど、教科横断的な視点に立って、指導計画を立てていきたい。
- ・GIGAスクール構想が前倒しされ、本校でも1人1台の端末が整備されたが、今後は電子データとして保存した記録を、次年度以降の活動にも活かしていきたい。
- ・新型コロナウイルス感染が終息した際には、この活動の成果を、保護者・地域、行政関係者にも発表会などを通して周知するとともに、地域の活性化にも繋がるような取り組みにしていきたい。

### 《 活動の一コマ》



コンピュータを使って情報収集する学園生





地域を探索し、地域の方から説明を受ける学園生



9年生が作成した地域景観ガイドマップ